

渡部純三局長	御起立願います。礼。御着席ください。
寺井克之会長	<p>只今より、第266回総会を開会いたします。</p> <p>本日は、委員の過半数が出席されておりますので、法律第27条第3項の規定により、総会が成立いたしておりますことを御報告いたします。</p> <p>続きまして、本日の議事録署名人には湯山地区の柴田委員と、難波地区の高橋委員のお二人にお願いいたします。また、地元説明のため久谷地区の東村推進委員、久枝地区の野本推進委員に御出席を願っています。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、御手元に配布されております議案書のとおり、第1号から第12号までの12件の議案が提出されております。</p> <p>それでは、議案第1号から第3号までを議題とします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
山岡美明副主幹	<p>それでは、議案第1号と議案第2号を御報告いたします。令和7年8月27日～令和7年9月26日までに専決処理した案件は第1号議案の4条届出が5件、第2号議案の5条届出が16件で届出内容は議案記載のとおりでございます。</p> <p>これらの届出につきましては、適法な届出となっておりましたので、それぞれ届出日から5日以内に専決処理を行い、受理通知書を交付いたしました。</p> <p>引き続き、議案第3号を御報告いたします。</p> <p>1番、本件は残存小作でございます。</p> <p>本件は賃借人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は、新たな耕作者に貸し付けるとしてあります。離作補償は無いとしております。なお、同時に農地法第3条許可申請が提出されておりますので、後ほど第4号議案にて御審議をお願いします。</p> <p>2番、本件は、農地法により、平成30年6月11日に設定された賃借権です。</p> <p>本件は賃貸人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>3番、本件は、農地法により、平成2年12月7日に設定された賃借権です。</p> <p>本件は賃貸人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>4番、本件は、農地法により、平成5年12月6日に設定された賃借権です。</p> <p>本件は賃貸人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自</p>

	<p>作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>5番、本件は、農地法により、平成5年12月6日に設定された賃借権です。</p> <p>本件は賃貸人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>6番、本件は、農地法により、平成5年12月6日に設定された賃借権です。</p> <p>本件は賃貸人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>7番、本件は残存小作でございます。</p> <p>本件は賃借人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>8番、本件は残存小作でございます。</p> <p>本件は賃借人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>9番、本件は残存小作でございます。</p> <p>本件は賃借人が申入れを行い、合意解約が成立したもので、解約後は賃貸人が自作地として耕作するとしております。離作補償は無いとしております。</p> <p>以上でございます。</p>
寺井克之会長	<p>以上で説明が終わりました。本件について御異議等ございませんか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺井克之会長	<p>それでは、本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>次に、議案第4号を議題とします。それでは、事務局の説明を求めます。</p>
山岡美明副主幹	<p>まず、先月、第265回総会において、本人保留の案件について御報告いたします。</p> <p>先月の議案第4号1番、小野地区の案件と8番、和気地区の案件は取下げとなりました。</p> <p>それでは、議案内容を御説明いたします。お手元に審査基準1号～6号までを整理した農地法第3条調査票がございますので、併せてご覧ください。</p>

まず、本総会で御審議いただく新規農業の案件 5 件を、一括にて御説明いたします。

7 ページの 3 番、4 番、5 番、8 ページの 6 番、9 番の譲受人は新規農業者です。この度、申請地を取得または借受け、新たに農業経営を始めたいとしております。

本案件は、新規農業となる案件でございますので、後ほど、地元委員の補足説明を願った上で御審議をお願いいたします。

それでは、その他の案件を御説明します。

1 番、譲受人は、農地約 54 アールを耕作する農家でございます。この度、利便性の高い申請地を借受け、農業経営の規模拡大を図るものでございます。

なお、本申請には期限の定めがありません。民法 597 条では「当事者が使用貸借の期間を定めなかった場合において、使用及び収益の目的を定めたときは、使用貸借は、借主がその目的に従い使用及び収益を終えることによって終了する。」と定められています。契約書を確認したところ、「使用貸借の期間は、定めなし」との記載がありました。また、使用及び収益の目的も定められておらず、水稻 1 作を持って使用及び収益を終えたとも断定できないため、事務局としては、許可やむを得ないものと思料します。

2 番、譲受人は、農地約 89 アールを耕作する農家でございます。この度、申請地を取得し、農業経営の規模拡大を図るものでございます。

3 番～6 番は、新規農業の案件です。

7 番、譲受人は、農地約 106 アールを耕作する農家でございます。この度、利便性の高い申請地を取得し、農業経営の規模拡大を図るものでございます。

8 番は、譲受人は、農地約 131 アールを耕作する農家でございます。この度、申請地を取得し、農業経営の規模拡大を図るものでございます。

9 番は、新規農業の案件です。

10 番は、譲受人は、農地約 103 アールを耕作する農家でございます。この度、利便性の高い申請地を取得し、農業経営の規模拡大を図るものでございます。

11 番は、譲受人は、農地約 62 アールを耕作する農家でございます。この度、申請地を取得し、農業経営の規模拡大を図るものでございます。

12 番は、譲受人は、農地約 13 アールを耕作する農家でございます。この度、利便性の高い申請地を取得し、農業経営の規模拡大を図るものでございます。

	<p>以上でございます。</p>
寺井克之会長	<p>それでは、地元委員から補足説明をお願いします。</p> <p>新規農業の案件は5件で、3番、4番、5番、6番、9番であります。3番から6番は、所在地が久谷地区でありますので藤岡委員から4件続けて説明をお願いします。</p>
藤岡正勝委員	<p>それでは御説明いたします。先ほど、事務局から説明がありましたとおり、3番の譲受人は、久谷地区にお住まいで、この度、同地区内の農地を取得し、新規に農業経営を始めるものです。</p> <p>35年の営農経験があり、地区審査においても、真剣に農業に取り組む姿勢が見受けられましたので、これを了承いたしました。</p> <p>次に、4番の譲受人は、久谷地区にお住まいで、この度、同地区内の農地を取得し、新規に農業経営を始めるものです。</p> <p>これまでも親戚農家の手伝いなどで農業経験があるとのことでした。</p> <p>また、今後も段階的に農業経営規模を拡充していく予定であり、地区審査においても、農業に対する意欲が充分に見受けられましたので、これを了承いたしました。</p> <p>次に、5番の譲受人は、久谷地区にお住まいで、この度、父親が所有する同地区内の農地を使用貸借し、新規に農業経営を始めるものです。</p> <p>JAの新規就農研修センターで研修を受けており、実家の手伝いなどでも3年の農業経験があるとのことでした。</p> <p>今度も技術的なサポートを父から受けながら、年間を通して農作業全般を行う予定であり、地区審査においても、農業に対する意欲も充分に見受けられましたので、これを了承いたしました。</p> <p>次に、6番の譲受人は、生石地区にお住まいで、この度、久谷地区の農地を賃借し、新規に農業経営を始めるものです。これまでぶどう栽培支援員の元で、植え付けから出荷までの指導を受けており、今度も技術的なサポートを受けながら、年間を通してぶどう栽培を行う予定であり、地区審査においても、真剣に農業に取り組む姿勢が見受けられましたので、これを了承いたしました。</p> <p>以上、本総会での御審議をよろしくお願いいたします。</p>

寺 井 克 之 会 長	9 番は、所在地が久枝地区でありますので野本推進委員から説明をお願いします。
野本正志推進委員	<p>それでは、御説明いたします。</p> <p>先ほど、事務局から説明がありましたとおり、本件譲受人は、今般、久枝地区の農地を譲り受け、新規就農をお考えであります。現在、農業指導センターで農業研修を受けており農業に対する意欲も十分に見受けられましたので、これを了承いたしました。</p> <p>なお、本総会での御審議をよろしく願いいたします。</p>
寺 井 克 之 会 長	<p>事務局並びに地元説明が終わりました。本件について御異議等ございませんか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺 井 克 之 会 長	<p>それでは、本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>次に、議案第 5 号を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
山岡美明副主幹	<p>1 番、本件申請人は、農地約 90 アールを耕作する農業者です。以前より周辺住民より駐車場が不足しているとの声がありました。更に、最近、松山市の道路拡幅工事に伴い、隣接する社会福祉法人の従業員駐車場の一部が買収にあったことから、従業員からも駐車場として利用したいとの要望が寄せられています。そこで、今後の営農などを含め生活設計上必要であることから、申請地を貸露天駐車場として利用したいと申請に及んだもので、既に予定台数の半分以上の予約を受けています。本申請地の農地区分は、住宅・事業所等が連たんしている区域に近接する区域で、おおむね 10 ヘクタール未満の農地であることから、第 2 種農地と判断されます。</p> <p>以上でございます。</p>
寺 井 克 之 会 長	事務局の説明が終わりました。本件について御異議等ございませんか。

<p>寺井克之会長</p>	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>この案件につきましては県許可分であります。直ちに意見を付して県知事に送付させていただきます。</p> <p>次に、議案第6号を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
<p>山岡美明副主席</p>	<p>1番、本件受人は、議案書記載の内容にて分家住宅を建築したいとしており、都市計画法上の開発許可も許可見込みでございます。本申請地の農地区分は、住宅・事業所等が連たんしている区域に近接する区域で、おおむね10ヘクタール未満の区域内にある農地であることから、第2種農地と判断されます。</p> <p>2番、本件受人は、久谷地区に本社を構え、建築・塗装業等を営む法人です。現在、本社敷地の一部など、小規模な保管場所以外に資材置場を保有しておらず、業務に支障が出ています。そこで、本社からも徒歩圏内の申請地を、露天資材置場として利用したいと申請に及んだものです。本申請地の農地区分は、住宅・事業所等が連たんしている区域に近接する区域で、おおむね10ヘクタール未満の区域内にある農地であることから、第2種農地と判断されます。</p> <p>3番、本件受人は、議案書記載の内容にて分家住宅を建築したいとしており、都市計画法上の開発許可も許可見込みでございます。本申請地の農地区分は、松山外環状道路出入口から、おおむね300メートル以内に位置することから、第3種農地と判断されます。</p> <p>4番、本件受人は、余土地区に本社を構え、運送業や土木建築工事等を行う法人です。近年、従業員数と物流量が増加し、現在の露天駐車場と露天資材置場の面積では対応できなくなってきました。そこで、隣接する本申請地に既存の露天駐車場及び露天資材置場を拡張して利用したいと申請に及んだものです。本申請地の農地区分は、住宅・事業所等が連たんしている区域に近接する区域で、おおむね10ヘクタール未満の区域内にある農地であることから、第2種農地と判断されます。</p> <p>また申請面積が1,000平方メートル以上の案件でもありますので、後ほど、地元委員の補足説明を願ったうえで御審議をお願いいたします。</p> <p>5番、本件受人は、伊予郡松前町に本社を構え、機械器具設置工事や管工事業を行う法人です。業務量の増加に伴い、西垣生町の加工場の拡張が不可欠な状況とな</p>

	<p>り、敷地内の資材置場や駐車場を移転する必要が出てきました。そこで、加工場に近い本申請地を露天駐車場及び露天資材置場に転用し、隣接する雑種地と一体利用したいと申請に及んだものです。</p> <p>本申請地の農地区分は、住宅・事業所等が連たんしている区域に近接する区域で、おおむね 10 ヘクタール未満の区域内にある農地であることから、第 2 種農地と判断されます。</p> <p>6 番、本件受人は、栗井地区に本店を構え、太陽光発電に関する業務等を行う法人です。</p> <p>これまでも、山間部を中心に太陽光発電設備の工事を行っており、本社から近い堀江地区に位置する本申請地に、太陽光発電施設を設置したいと申請に及んだものです。本申請地の農地区分は、住宅・事業所等が連たんしている区域に近接する区域で、おおむね 10 ヘクタール未満の区域内にある農地であることから、第 2 種農地と判断されます。</p> <p>なお、松山市以外で許可された転用案件の進捗状況や利用状況については把握できないことから、「太陽光発電施設での転用許可を受けた農地について、転用許可どおりに利用若しくは進捗されている場合に限る。」との意見を付して、愛媛県に送付したいと考えています。</p> <p>以上でございます。</p>
寺井克之会長	<p>それでは、地元委員から補足説明をお願いします。</p> <p>4 番の案件は、1,000 平方メートルを超える案件で、所在地が余土地区でありますので、池田巧委員から説明をお願いします。</p>
池田巧委員	<p>先ほど事務局から説明がありましたとおり、譲受人は余戸南に本社を置き、主に貨物自動車運送業を行う法人です。近年は従業員数と物流の量が増えてきており、県外での仕事も多いことから交通の便利な本申請地を露天駐車場・露天資材置場として利用したいと申請に及んだものです。地元土地改良区とも協議済みであり、転用によって生じる被害の防除措置も充分行うということから、地元としては了承いたしました。</p> <p>なお、本総会での御審議をよろしくお願いいたします。</p>

寺井克之会長	<p>事務局並びに地元説明が終わりました。本件について御異議等ございませんか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺井克之会長	<p>それでは、本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>この案件につきましては県許可分であります。直ちに意見を付して県知事に送付させていただきます。</p> <p>次に、議案第7号を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
越智徹主査	<p>それでは御説明いたします。</p> <p>本議案は、松山市が農用地利用集積等促進計画において、中間管理機構を通して、権利設定及び所有権移転を行うため、農業委員会に意見を求められたものです。</p> <p>まず、12ページからの権利設定に関するものが3件、次に13ページの所有権移転に関するものが1件ございます。</p> <p>12ページ1番の譲受人は392アールを耕作する農業者で、新たに使用貸借権を設定し、経営規模を拡大するとしています。</p> <p>2番の譲受人は約818アールを耕作する農地所有適格法人で、新たに使用貸借権を設定し、経営規模を拡大するとしています。</p> <p>3番の譲受人は、以前から特定作業受委託を行うことにより、認定農業者となっており、現在、耕作面積はありません。地域計画においても、地域の農業を担う者として位置づけられている者であることから、中間管理事業法による利用権設定を利用できるため、今回、使用貸借権を設定し、経営基盤を強化するとしています。</p> <p>13ページからは所有権移転になります。</p> <p>4番の譲受人は約238アールを耕作する農業者で、田及び畑を売買により取得し、経営規模を拡大するとしています。</p> <p>なお、今後、この農用地利用集積等促進計画（案）を松山市が農地中間管理機構へ提出し、農地中間管理機構が農用地利用集積等促進計画を決定した後に、松山市がこれを認可し、公告することが予定されています。</p> <p>貸借権等の権利の開始は令和7年12月1日の予定です。</p> <p>また、所有権移転の移転時期は令和7年11月28日の予定です。</p> <p>所有権移転は売り手から中間管理機構に権利を移転し、その後、中間管理機構か</p>

	<p>ら買い手に所有権移転を行うものです。また、それぞれの所有権移転について、認可公告、代金の受け渡し、登記手続きが必要になるため、移転時期はこのようなっております。</p> <p>御審議のほどよろしくお願いします。</p>
寺井克之会長	<p>以上で説明が終わりました。本件について御異議等ありません</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺井克之会長	<p>本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>次に、議案第8号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
越智徹主査	<p>それでは、御説明いたします。</p> <p>農地を相続し、相続人が相続税の納税猶予を希望する農地は、相続人が相続後も適正に耕作を継続する場合、租税特別措置法第70条の6第1項の規定により、相続税の納税を猶予することができる条件の一つを満たすこととなります。</p> <p>これは税務署の制度で、農業委員会は、農業委員会等に関する法律第6条第1項等3号の所掌事務により、猶予を受けようとする者が適格性を有するかどうかを判断し「適格者である旨の証明書」を交付することとなっていますので、本日の案件としております。なお、最終的に議案記載の農地の相続税の納税猶予を認めるかどうかにつきましては、税務署の判断となります。</p> <p>番号1の相続人は、これまで農業に従事していたことなど、納税猶予を受ける適格性につきまして問題がない旨の、地元委員の副申書も添付され、農地も適正に耕作をされています。</p> <p>以上でございます。</p> <p>御審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
寺井克之会長	<p>事務局から説明が終わりました。本件について御異議等ありませんか。</p>

寺井克之会長	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>次に、議案第9号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
越智徹主査	<p>本日の議案について御説明させていただきます前に、訂正をお願いします。各件の特例適用者の住所の町名が漏れておりましたので、加筆修正をお願いします。</p> <p>1番の特例適用者の住所は来住町です。</p> <p>2番は、森松町です。</p> <p>3番は、居相5丁目です。</p> <p>4番は、安城寺町です。</p> <p>申し訳ありませんが、加筆修正をお願いいたします。</p> <p>それでは御説明いたします。</p> <p>農地の相続人が、税務署にて租税特別措置法第70条の6第1項の規定により相続税の納税猶予の適用を受けた農地につきましては、相続後20年間適正な耕作及び管理を継続して行いますと、相続税は免除されます。</p> <p>今般、税務署より農業委員会に対し、現地の確認依頼がありましたので、農地の利用状況の確認を行ったものです。</p> <p>今回報告する案件は4件、10筆です。</p> <p>そのうち、耕作されている農地や草刈りを行い、いつでも耕作可能な状態で保全管理されている農地が9筆、納税猶予申請時点で農地の一部が駐車場となっているものが1筆ありました。</p> <p>なお、最終的に納税猶予の免除を認めるかどうかにつきましては、税務署が判断することとなります。</p> <p>以上でございます。</p> <p>御審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
寺井克之会長	<p>事務局から説明が終わりました。本件について御異議等ありませんか。</p>

	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺井克之会長	<p>本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>次に、議案第10号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
山岡美明副主幹	<p>それでは御報告いたします。</p> <p>令和7年8月27日～令和7年9月26日までに、専決処理した案件は25件で、届出内容は、議案記載のとおりでございます。</p> <p>これらの届出につきましては、適法な届出となっておりましたので、専決処理を行い、受理通知書を、交付いたしました。</p> <p>以上でございます。</p>
寺井克之会長	<p>事務局から説明が終わりました。本件について御異議等ありませんか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺井克之会長	<p>本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>次に、議案第11号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
越智徹主査	<p>それでは、御説明いたします。</p> <p>本日、御審議いただく案件は、2件ございます。</p> <p>1番は久谷地区、2番は西中島地区となっております。私からそれぞれの状況を説明した後、地元委員から補足説明をいただき、農地に該当するか否かについて御審議をお願いします。</p> <p>対象地については、荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領に基づく調査により、農地法第2条第1項の「農地」に該当するか否かの判断が必要であることから、本日御審議いただくことになりました。御手元に現地の状況を取りまとめた資料をお配りしていますので、ご覧ください。</p>

<p>寺井克之会長</p>	<p>まず、1番から御説明します。</p> <p>1番は令和7年9月18日に土地所有者から農業委員会事務局に、非農地判断を依頼してきたものです。</p> <p>現地調査については、令和7年9月30日に所在地である久谷地区の池田友邦委員、藤岡正勝委員、石原廣紀推進委員、東村俊之推進委員に事務局職員も同行し、現地調査を実施しました。</p> <p>2ページは対象地を記載した位置図です。</p> <p>3～5ページは、登記簿の写しです。</p> <p>6、7ページは、公図の写しです。</p> <p>8～12ページは、写真撮影方向、対象地を撮影した写真です。</p> <p>次に、2番を説明します。</p> <p>2番は、令和7年9月18日に土地所有者から農業委員会事務局に非農地判断を依頼してきたものです。</p> <p>申請人から事前相談があった段階で、令和7年9月12日に東中島地区の松村博信委員、西中島地区の森政彦推進委員と神和地区の福田信次委員に事務局職員も同行し、現地調査を実施しました。</p> <p>本申請は対象地が離れておりますので、資料を対象地で分けて、作成しております。</p> <p>まず宇和間甲572番の資料について、説明します。</p> <p>14ページは対象地を記載した位置図です。</p> <p>15ページは、登記簿の写しです。</p> <p>16ページは、公図の写しです。</p> <p>17～21ページは、写真撮影方向、対象地を撮影した写真です。</p> <p>次に、宇和間乙203番1の資料について、説明します。</p> <p>22ページは対象地を記載した位置図です。</p> <p>23ページは、登記簿の写しです。</p> <p>24ページは、公図の写しです。</p> <p>25～29ページは、写真撮影方向、対象地を撮影した写真です。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>御審議いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、地元委員から補足説明をお願いします。</p> <p>1番は、所在地が久谷地区でありますので東村推進委員から説明をお願いします。</p>
---------------	---

<p>東 村 俊 之 委 員</p>	<p>それでは、御説明いたします。</p> <p>令和 7 年 9 月 30 日に、私と久谷地区の池田友邦委員、藤岡正勝委員、石原廣紀推進委員と事務局職員で現地調査を行いました。</p> <p>申請地は久谷地区で、申し出のあった土地は、久谷町甲 2071 番、甲 2072 番、甲 2074 番の合計 3 筆です。</p> <p>3 筆とも、申請者が昭和 22 年に家督相続により取得し、水稻を栽培していました。現地は奥久谷集落から、さらに久谷川をさかのぼった谷間にありますが、接道がない久谷川の右岸に位置しており、付近に橋もないため、農業用機械を使用することができず、労働力不足により、昭和 60 年頃に耕作をあきらめたものです。</p> <p>現在は雑木が繁茂し、付近の山林と完全に一体化しています。</p> <p>そのため、3 筆とも農地として復元することは、極めて困難であると考えられることから、農地性はないと判断しました。</p> <p>御審議のほど、よろしくお願いします。</p>
<p>寺 井 克 之 会 長</p>	<p>2 番は、所在地が西中島地区ではありますが松村委員から説明をお願いします。</p>
<p>松 村 博 信 委 員</p>	<p>それでは、御説明いたします。</p> <p>申請地は西中島地区で、申し出のあった土地は、宇和間乙 203 番 1、甲 572 番の合計 2 筆です。</p> <p>乙 203 番 1 と甲 572 番ともに、申請者の父親が平成 8 年に売買により取得し、柑橘を栽培していた樹園地でしたが、平成 16 年に父親が亡くなり、申請者が相続しました。父親は高齢になると栽培ができなくなり、乙 203 番は、隣接地の農業者に作業委託しましたが、急斜面で面積も広く、労働力不足と猪による獣害により、平成 17 年頃に耕作を諦め雑木等が繁茂しました。甲 572 番は、隣の集落の農業者に作業委託しました。しかし、急斜面で高い位置にあり、周囲も耕作放棄地に囲まれており、猪による獣害もあり、平成 18 年頃に耕作を諦め雑木等が繁茂しました。</p> <p>そのため、2 筆とも農地として復元するには、極めて困難であると考えられることから、農地性はないと判断しました。御審議のほど、よろしくお願いします。</p>

寺井克之会長	<p>事務局並びに地元説明が終わりました。本件について全て「非農地」という判断で御異議等ございませんか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺井克之会長	<p>本件異議なしと認め、関係先等へ判断結果を通知いたします。</p> <p>最後に、議案第12号を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
越智徹主査	<p>それでは、御説明いたします。</p> <p>本件は、申出者より農業振興地域の整備に関する法律で定める農用地区域に編入してほしい旨の申出があり、それを受けて松山市が農業振興地域整備計画を変更するに当たり、当該法律の規定に基づき、農業委員会の意見を求めてきたものでございます。</p> <p>1番から5番は、全て、中山間地域等直接支払制度を活用するにあたり、要件である農用地区域内農地への編入が必要であることから、編入してほしい旨の申出があったものです。本件、各申出地の農用地区域への編入に係る計画変更は適当と思われませんが、本総会にて意見の決定をお願いします。</p> <p>以上でございます。</p>
寺井克之会長	<p>事務局から説明が終わりました。本件について御異議等ありませんか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
寺井克之会長	<p>本件異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。</p> <p>これにて、本日の提出議案12件の審議は全て終了いたしました。</p> <p>次に事務局から連絡事項等あれば、お願いします。</p>

山岡美明副主幹	<p>転用調整班からのお願いです。</p> <p>例年 10 月頃から追跡調査を行っています。追跡調査は 2 年前に転用許可した案件の内、転用確認が提出されていないものについて現地調査を行うものです。まず事務局が現地調査を行い、状況確認した後、必要に応じて委員の皆様に同行をお願いしたいと考えております。各地区担当から、依頼や報告があると思いますので、御協力をお願いします。</p>
越 智 徹 主 査	<p>私から、連絡事項がございます。</p> <p>まずは、視察研修を 10 月 30 日、31 日で実施いたします。出席される方には資料を配布しております。御確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、改選についてです。令和 8 年 4 月に募集を行う予定ですので、地元の調整をよろしくお願いいたします。また、自民党総裁も女性になりましたので、調整の中で女性農業委員の選任も検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、次回の総会の日程です。</p> <p>通常総会となります第 267 回総会は、令和 7 年 11 月 10 日 月曜日 午前 10 時 30 分から、こちらの会議室で開催する予定ですのでよろしくお願いいたします。</p> <p>連絡事項は以上です。</p>
寺 井 克 之 会 長	<p>以上をもちまして、本日の第 266 回総会を閉会します。</p>
渡 部 純 三 局 長	<p>御起立を願います。礼。</p> <p style="text-align: right;">午前 10 時 52 分閉会</p>